

『市報ひがしまつしま』号外 災害臨時号発行のあらまし



■発行号の内訳

発行号・サイズ	発行年月日	主な掲載内容
1号(A3両面)	平成23年3月21日	震災による被害状況、避難場所・ライフラインの確保状況、災害相談・安否確認窓口および遺体安置所の開設、災害廃棄物の処理、市立 幼稚園・小学校・中学校 卒業式・修了式の開催
2号(A3両面)	平成23年3月28日	一般家庭からの災害廃棄物の直接受け入れ、応急仮設住宅の建設着工、自宅に流入した自動車の撤去・消毒用石灰の配布、各種税金の納期限の延長、健康診査および予防接種の延期
3号(A3両面)	平成23年4月4日	応急仮設住宅の入居申込受付開始、「被災証明書」と「り災証明書」発行、災害弔慰金・災害障害見舞金・災害援護資金の申請開始、被災世帯への生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付
4号(A3両面)	平成23年4月11日	津波による災害廃棄物の無料回収、ミヤコーバス臨時バス「仙台～石巻便(矢本経由)」・JR臨時代行バス(石巻駅～松島駅(東北本線)経由)の運行
5号(A3両面)	平成23年4月18日	被災者生活再建支援制度と災害弔慰金・災害障害見舞金・災害援護資金貸付の申請受付、被災地拾得物の返還
6号(A4両面)	平成23年4月18日	東松島市震災復旧生活資金貸付の申請受付、震災による被災家屋解体・撤去、災害義援金の申請受付

※市報ひがしまつしまは、平成23年3月号までは月1回発行(毎月1日発行日・A4判)でしたが、平成23年4月号は発行休止。平成23年4月15日号から月2回発行(毎月1・15日号・タブロイド判)になりました。

■主な配布先(方法) 市内外の各避難所、行政区経由による班回覧、市ホームページでの公表(PDF版)

編集後記

2003年(平成15年)7月26日発生の宮城県北部連続地震や今回の東日本大震災だけでなく、全国的にも1995年(平成7年)1月17日発生の阪神・淡路大震災、2004年(平成16年)10月23日発生の新潟県中越地震、ほかにも、台風や大雨による水害など、日本列島全体が大災害に見舞われてきました。

しかし、どの被災した地域でも全力で復興をなし遂げ、復興に邁進しています。

東日本大震災は、1,000年に1度の災害と言われていますが、私たちが学んだことは、「甚大な被害を直視する」、「現実起きたことに立ち向かう」そして、「復興するまであきらめない心」だと思えます。

復興スローガン
「あの日を忘れず ともに未来へ ～東松島一心～」

このスローガンの意味は、今までのまちづくりの理念に加えて、この災害を風化させることなく教訓とし、東松島市の再構築をする「一つに新しく」して向かう意味と、心一つにして邁進していく「一心」をキーワードとして復興のまちづくりを進める「一進」となっています。

震災後、被災者救助から始まり、ご遺体の仮安置・仮埋葬、災害廃棄物処理、仮設住宅の確保に取り組んできました。医療、福祉、教育の再開にも全力を傾注してきました。

応急対応は、部分的に継続が必要ですが、加えて現在は、道路や鉄道などのライフライン、そして壊滅状態となった産業も含めて震災前に戻す復旧と、災害を教訓としたより強固な堤防の構築、安全・安心な居住地の整備などの新たなまちづくりの復興に取り組んでいます。

全国の皆様から頂いた多くの支援に感謝を申し上げるとともに、復興を成し遂げることで皆様の支援に応えることを胸に刻み歩んでまいります。

○この震災記録誌は23,000部制作し、印刷代は1部あたり49.35円(消費税込)です。